

たまに購入していますが、流行を意識しつつ長く着られるデザインで、とても気に入っています。仕立てもしっかりしていて、信頼できる商品です。着て出かけると、「素敵だね!!」と誉めてもらえて、買ってよかったと、毎回満足しています。

八戸市のN・Kさん

スクロールで購入した衣類は、程よい値段で、気に入った物も多かったです。私は、同じ商品を、サイズ違いや色違いで買い(2つずつ)、気に入ったものを購入し、1つは返品するという方法です。

七戸町の月見草さん

スクロール 春のおススメカタログ

春号 50周年記念

配布：3月4週(3月7日～)

スクロールは、「組合員さまの生活を意識し、組合員さまの生活に寄り添いながら日常を少しでも豊かにできるように商品を衣料品中心に提供しております」

カタログも組合員さまのライフステージに合わせ、様々な年代の組合員さまにご満足いただけるようにいろいろな媒体・商材を取り揃えております。

21年度は、生協様とのお取引50周年を記念しまして、『50周年記念媒体』を夏・真夏・秋・冬・真冬と合計5回展開しており、3月に集大成となる**春号**の展開を予定しております。



商品企画からカタログ製作、 商品出荷まですべて自社完結

「スクロール」



生協で、スクロールの商品を取り扱い始めて、2021年に50年を迎えました。

スクロールは、生協の品質基準に添ったアパレルを中心に服飾雑貨や生活雑貨などのオリジナル商品を取り扱っているブランドです。ニーズの変化や多様化に対応してカタログの種類も増えています。

今回はスクロールで、アパレルを中心に、服飾雑貨や生活雑貨など、日々入荷する膨大な量の商品を個人別・生協の事業所別にセレクトし、全国の組合員にお届けしている「スクロールロジスティクスセンター(静岡県浜松市)」を紹介いたします。

入荷から出荷まで、すべての商品がバーコードデータで管理され、国内で唯一という独自の高度な仕分けシステムと相まって、スピーディーで確実な出荷を可能としています。

スクロールの商品は、生協の共同購入ルートを通じてお届けする

ため、一般の通販事業者と異なり、不在時でも確実に商品の受け取りができます。不都合が発生した場合(イメージと違った場合の返品等)も、いつもの生協担当者窓口になっているという安心感もあるようです。

手にした現品がイメージと違っていたり、その良さが伝わりにくかったりするというのがカタログの商品ですが、同社では、それを埋めるための学習会や展示会なども開催しています。また、声をいかけた商品づくりを目的に、地元生協(ユーコープ)組合員の登録によるモニターの仕組みがあるそうです。

この機会に、自分にぴったりの一品を探してみるのは、いかがでしょうか？



「スクロールロジスティクスセンター浜松西」は、5万5千㎡(サッカーコート約8面分)という広大な敷地に、6つの建物で構成されています。

販売を経てカタログ事業を開始。1971年に、日本生協連を通して全国の生協に商品の供給がスタートしました。2009年には、それまでの株式会社ムトウから「スクロール」に社名変更が行われています。

Q&A 返品について

Q 返品した「スクロール」は、返品後どうなりますか？

A 「スクロール」について

返品された商品は、「スクロール物流センター」で商品に問題がないか検品します。商品自体に問題がない場合は、「仕上げ直し」を行った上で、再利用します。「仕上げ直し」では、アイロンを使用したプレス加工や、「つり札」の付け直しを行い、規格袋や台紙も新しいものに交換します。返品されるほとんどの商品は、「サイズが合わない・イメージ違い」によるもので、商品自体に問題はありませんが、確認のため、全数商品検品をした上で出荷しております。不良品や着用の痕跡がある商品は廃棄します。

コープ東北宅配商品本部 田崎一好



全国の生協組合員から寄せられる、お届け商品についてのお申し出等の対応をする部署があり、現品の確認や、お申し出内容の調査をしています。



スクロール制作の様子：新規カタログ掲載商品は、仕様書通りの商品となっているかなど、入荷時点でのチェックも行われています。